

◇武藤 威 君

○議長（伊藤福章君） 9番武藤 威君、登壇願います。

（9番 武藤 威 君 登壇）

○9番（武藤 威君） 9番武藤です。おはようございます。

私の今回の質問は道路の改良、特に歩行者の安全、生活関係でスムーズに行くようにということで、今回道路の関係で質問するわけでございますけれども、ついこの間、町の総合計画が出され、我々家庭に配られてきました。それを見ますと、教育の問題から生活環境、福祉、その他もろもろと、どれをとってもこうあるべきだなと、だれが見ても納得いくというようなすばらしいものだと、私ざっと見ましたけれども、そう感じました。

ところで、その総合計画のホップ・ステップ・ジャンプという中で、一番最初に書かれていたのがやはり道路の整備と。よくしていかなければいけないというのが一番冒頭に書かれておりました。なるほどなど。やはり、この道路は当町としても、例えば人間の体で言えば骨格、血管と同じで心臓から血液が流れて末端まで行き届き、それがまた心臓へ戻ってくるというようで、これは最高いい計画だなと感じました。

ただ、これがどうなっていくのかということから考えますと、これは町長初め町全体で取り組んでいかなければできない至難の技と、これは絵にかいたもちになってしまうと大変なことになるということで、一步一步我々これから進んでいくわけでございますけれども、そういう中で、こういうとき、こんな場所で言って申しわけございませんけれども、例えば町の主要道路でございますけれども、旧千畑を見た場合、仙南、六郷と違って国道もないし、鉄道もないという中で、この道路頻繁に使いながらこれまでやってきたわけでございますけれども、そういう中で、例えば本堂から大曲に行く道路と、それから若清水のところの旧役場のところ真っ直ぐと、それから 旧畑屋農協のところと。一方山の陰には山麓道路、もうすぐでできるわけでございますけれども、また、その下には山の根元といえいいんですか、それを出ていく道路と、最後一丈木に行って、黒沢に延びる道路と。そして、角六線ということで、これをフルに使いながら通学、また役場、 カントリー、農協、病院等々、ほかの町村に行くときも利用して、これまできたわけでございます。

そういう中で、どれをとっても大事な道路でございますけれども、美郷町全域から見ればそういうところはまだまだあると思いますけれども、ただ、この角六線につきましては、町でももちろん行ったはずですけども、昔から、何年も前から県等に要望に行ってきました。県道といいながら歩道がないところが結構あるということで、私もそれなりに県にかけ合ったり何かしてきましたけれども、そのたびに角六線は整備済みだという答えをいただてきました。

あれを拡幅するといったら容易でないということで、それとも道路のふちをよくして側溝整備するな

りして、ふたかけたり何かすれば広くなって、何ぼでも歩行者の安全も、通学の子どもたちの安全も守れるのではないかということから、やはり一部ではぼつぼつとですけれども、例えば小荒川あたりできてきましたけれども、やはりあの沿線、六郷境から太田境まで各地区の方々から昔から要望の出されているところです。

何とかそうしてほしいという中で、実はことしになってからも塚の方から遠くの子どもたちはスクールバスで通ってくるかもしれないけれども、この冬期間、この小さいわらし、小学校に歩かせてやるのは本当に危なくて見ていられないというような声が出ておりますので、その辺、県にかけ合えば県道はもう整備済みだし、側溝なら、その辺ならさっと考えて、それぞれの自治体で考えてそれなりにやられないもんだとかというようなことまで言われた経緯もございますので、その辺町長から答弁願います。

それから、もう一つですけれども、外川原、観音様のところから、善知鳥坂、湯竹、山根、座堂、それから上内村にかかる道路ですけれども、これも前々から、何年も前から町にも来ておるんだろうし、私にも来ております。これも結構交通量が、先ほど言いましたけれども、学校、役場関係から医者、農協、カントリー、その他で歩く道路です。しかも、あそこはダンプ、大型車両もどんどんと歩くと、それにカーブも多いと、危険箇所が多いということで、これも結構言われてきておる道路でございます。

これにつきましては、私平成9年9月議会に、当時高橋 玲町長に、地域住民の声としてお願いを込めて願った、質問したことがございます。当時、高橋町長は、私も何回かあそこ歩いて、いつもそう思っていると。しかも、使われる道路だと。そして、町からもおれさも来ていると、町で住民からおれさも来ています。やらなければできないけれども、当時役場も建設ということで、いろいろ金かかるときだから、それがさっと落ちついたとき考えていくという答弁をいただいておりますし、そして、そういう約束して町長やめてしまったわけです。

その後、藤嶋町長になりまして、平成12年にやはり同じことでいいました。やはり藤嶋町長もそのとおりだと、私にも来ていますし、おれもそう思っていると。やらなければできないけれども、下畑屋、外川原の道路がもうすぐで終わる計画であったのが延び延びになっている。それ終わったらやりますという中で、そういうことを言ってやめていきました。

それで、何事3回目の松田町長に再度お願いを込めて質問するわけでございますので、前途有望なる答弁をいただきたいと。以上です。

○議長（伊藤福章君） 答弁を求めます。町長、登壇願います。

（町長 松田知己君 登壇）

○町長（松田知己君） ただいまの武藤議員からのご質問にお答えします。

初めに、県道角館六郷線の拡幅改良についてですが、この路線は国道13号線と国道105号線を結ぶ主

要地方道として位置づけられておりまして、美郷町にとりましても町内を縦貫する幹線道路として大変重要な意味を有する県道であると認識しております。そのため、この拡幅改良については、これまでも各旧町において県に整備要望をしてきております。また、美郷町としても整備促進について要望活動を展開してきているところです。

県においては、交通状況を踏まえるとともに、こうした取り組みにもご理解をいただき、今般 小荒川、下相野地区においては、今年度から歩道整備に向けた取り組みを展開していただいております。議員ご指摘の箇所についても、町としては共通の認識でありますので、小荒川、下相野地区の早期完成を含めた美郷町全域における歩道整備や、あるいは道路改良整備の要望に加えまして、先ほどご指摘の側溝改良等、緊急的な対応についてもあわせて要望してまいりたいと思います。

なお、議員が県にいつごろそうした要望をされ、また、県の方で回答されたかわかりませんが、年々県の道路整備に対する考え方も変わっております。我々ができることは我々でできるように頑張りますし、また、県が実施しなければいけない部分は県に実施してもらおうように努めてまいりたいと存じます。

次に、東外川原線、善知鳥坂、湯竹、山根、座堂、上内村間の道路改良についてですが、町としては旧千畑町時代と同様に重要な路線と認識しておりますが、その区間延長が約6キロメートルと大変長く、整備には長い事業期間と多大な事業費が見込まれる状況です。そのため、区間を分割して整備していく考え方が必要となりますが、まずは、湯竹、山根、座堂、上内村間の延長約2キロメートルの区間を優先していくこととし、現段階では美郷町総合計画の後期基本計画期間内に整備したい予定です。それ以降の区間については、当該区間の整備が完成した後に検討してまいりたいと存じます。

また、その間の交通安全対策については、まずは地域住民全体の交通安全に対する意識啓蒙を図っていくほか、道路利用者の危険意識啓発に向けた、危険箇所について警戒標識など、施設整備に努めてまいりたいと存じます。

以上をもちまして答弁を終わります。

○議長（伊藤福章君） 再質問ありますか。武藤 威君、再質問許可します。

○9番（武藤 威君） 前向きな答弁ありがとうございました。

確かに下相野地区はやるという薄々わかっておりましたけれども、やはりそういうと、おら方もおら方もと出てくるものだから、その次あたりはやはり六郷境から、あそこ一番混みますよ、山崎竹屋のあたり。それから、ずっとこっち、マカベの入り口前後、あそこが結構交通量、子どもたち、それからばあちゃんたちが結構歩くところですので、やはりそれもちよっと頭の隅っこの方でもいい、真ん中さでも入れておいてほしいと。

それから、確かに一番危険なところは山根の曲がり角のあたりが一番危険で、町の建設課長さんから

もお願いして、一部支障出たところさっさとやってもらって、よかったと言われております。大型ダンブが人の屋敷にとまったりして、端っこしていくと、そういう状況ですので、やっぱり1日も早くやれるように願いたいと。

ところで、ちょっと雑談みたいになって、まだ時間ありますね、雑談みたいになって悪いんですけども、なんか旧千畑の場合、こんなこと言ってあれですけども、ようやく今一丈木の入り口の交差点、あの改良工事ができて、本当にあの地域の方は喜んでおりますし、我々も安心して通れるようになりました。これもたしか、私が産業建設の委員長だかなんだかやってたあたり、その研修で見に行ったり何かりして、県にも要望してようやくできたわけで、ところが、千畑の現象というのは何といたしますか、町長3代でようやくできた、それ小さいもの、何ほ小さくとも例えば羽貫谷地の俗に言うデガの前のところ、あれもたしか町長3代目でようやく完了し、盛りあの時お願いしたおじいちゃん、おばあちゃん死んでいる人結構おります。今恩恵に受けている孫さん、子どもたちですけども、ようやく救急車も来るようになったし、もし何かあっても、火事の時も大曲からもどこからも来るなど喜んでおります。やはり、先ほど言いましたけれども、総合計画の一番目に書かれているのが道路ですから、やはりそれもある程度重点として、これから我々もそういう面で頑張っていきたいと思っておりますし、町当局の各課長さん町長さん初め、それを頭に入れながらやっていってほしいなど、お願いしまして、終わります。

○議長（伊藤福章君） これで9番、武藤 威君の一般質問を終わります。